

総合戦略 事業内容

基本的戦略1 「^{さと}里都まちブランド・^{さと}里都まち「**耕業**」による地域経済活性化戦略」

国の基本目標1：地方における安定した雇用を創出する

中井町には、豊かな自然環境の中で農業が営まれ、環境と調和した工業団地がある。この農業と町民のアイデアやグリーンテクなかい等に進出する企業等の力を連携させ地域の経済力を向上させる。

	目標項目	目標値(H31)	基準値
数値目標	新規就農者数	10戸	現況4戸
	新規起業者数	5社	現況0社

【プロジェクト1】^{さと}里都まちブランドプロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○^{さと}里都まちブランド特産品開発事業 ブランド特産品の開発支援補助を行い認証することで、中井町の多様な地域資源を活かしたブランド特産品の開発を行う。	認定品目数
	農家/企業/大学/町民/町	
○^{さと}里都まちブランド流通マーケティング事業 ^{さと} 里都まちブランド特産品をなかい ^{さと} 里都まちCAFEで販売し、それを皮切りに販路の拡大を図る。また、ふるさと納税の返礼品になっている。	^{さと} 里都まちブランド 販売施設数	3施設
	農家/企業/大学/町	

【プロジェクト2】^{さと}里都まち「**耕業**」プロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○「起農・創農者」支援事業 農業体験や収穫体験を実施し、地元農家の説明を受け町民とも触れ合いながら農業に触れる機会を創出。また、町内3か所の農園を貸し出すふれあい農園事業を行っている。新規就農者が農業委員に相談できる機会を設けたり、定期的に新規就農者の農地を確認したり、就農後の支援も継続して行っている。	新規就農者数
	農家/企業/町	
○起業・NPO等設立支援事業 国の補助制度の活用を図りながら、商工団体や金融機関と連携して支援を行う。また、平成29年度から空き家バンク制度を創設しており、地域の空き家を活用した起業等を支援する。	新規起業者数	5社
	企業/金融機関/商工会/町	

基本的戦略2 「^{さと}里都まちスポーツ・情報の駅による交流促進戦略」

国の基本目標2：地方への新しいひとの流れをつくる

里山などの自然と美しい景観の中でスポーツができる中井中央公園、ジョギングや散歩ができるネットワーク、子どもから高齢者まで楽しめる公園は町の財産である。町で暮らす住民はすべて中井の宝である。この財産や宝を活かして企業や研究機関と町民が連携して交流人口と定住人口の増加を促進する。			
数値目標	目標項目	目標値(H31)	基準値
	交流人口	200,000 人	現況 150,000 人
	転入者数	440 人	現況 384 人

【プロジェクト1】^{さと}里都まちスポーツ・プチツーリズムプロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○^{さと}里都まちスポーツ交流人口増加事業 中井町特有のスポーツ環境を活かした新しいスポーツイベントとして、ノルディック・ウォーク教室やキッズサイクルフェスティバルを開催。既存のスポーツイベントとノルディック・ウォーク教室を連携させるなどして、イベント参加者数の増加を図っている。	スポーツ関連 イベント参加者 数(年)
	大学/企業/町	
○^{さと}里都まちスポーツ・プチツーリズム事業 「未病センター・なかい健康づくりステーション」を保健福祉センターに平成28年2月に設置し、健康づくり・体力づくりの拠点としての活用促進を図っている。	未病センター 利用者数(年)	1,000 人
	企業/大学/町	
○^{さと}里都まちスポーツのまち事業 新たなスポーツイベントの開催や、新たなスポーツ種目の推奨を行っている。加えて、町民や町内のスポーツ・文化団体関係者を中心に、総合型地域スポーツクラブの創設に向けて取り組んでおり、誰でも気軽にスポーツを実施できる環境づくりを目指している。	スポーツ実施率	50%
	町民/企業/町	

【プロジェクト2】^{さと}里都まち情報の駅プロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○Wi-Fi スポット設置事業 役場庁舎、井ノ口公民館、なかい里都まちCAFEの3か所に今年度Wi-Fiスポットを設置した。Wi-Fiスポットの増設については、ランニングコストと利用実績をもとに判断していく。	Wi-Fi スポット 設置数
	企業/町	
○情報コンテンツ等開発支援事業 昨年度なかい里都まちCAFEのホームページを立ち上げ、施設の紹介やイベント情報などを発信してきた。情報発信の拠点として、なかい里都まちCAFEに情報を集め、ホームページだけではなくフェイスブック等でも、こまめに情報を更新・発信していく。	コンテンツ 延べ閲覧回 数(累計)	50,000 回
	企業/大学/町	
○プチ田舎だけど便利なまち定住支援事業 町内の通信網は整備されている。Wi-Fiスポットの設置などを通じて、インターネット接続環境の向上を図る。	インターネット 接続率	80%
	企業/町	

基本的戦略3 「^{さと}里都まち子育て応援戦略」

国の基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

身近な自然と暖かい地域コミュニティが中井町にはある。その特性を活かすとともに、安心して子どもを産み育てるために経済的支援を行うことにより、合計特殊出生率をあげ、子どもたちを増やす。			
数値目標	目標項目	目標値(H31)	基準値
	出生数	61人/年	43人/年

【プロジェクト1】^{さと}里都まちネウボラプロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○保育料・給食費助成事業 こども園、保育園、幼稚園の保育料を子ども一人当たり年額 5,000 円助成している。助成件数は 200 件弱。 また、小学生の給食費を月額 300 円、中学生の給食費を月額 400 円助成している。小学生 500 名弱、中学生 300 名弱で合わせて 700～800 名分の助成を行っている。	こども園等の園児増加数
	小中学生の転校者減少数	-3人
	出生数の増加数	+5人
	町	
○切れ目のない相談・情報発信事業 「里都まちなかいネウボラ」を昨年度開設し、専任の相談員として助産師を配置するなどして子育て支援を充実させた。また、ママと赤ちゃんの癒しの場として「産後ほっとステーション」事業を行っており、子育ての切れ目のない支援体制を構築している。	なかいネウボラ設置数	1か所
	なかいネウボラ利用者数(年)	800人
	町	
○^{さと}里都まち子ども居場所づくり事業 親子で楽しめる土曜学習を開催している。町以外にも、民間団体によりコミュニティ食堂の開催や放課後に子どもを集めて宿題や遊びを行うことも実施している。	プログラム実施回数(月)	6回
	町民/企業/大学/町	
○多様な雇用形態の創出支援事業 地元企業にアンケート調査を実施し、取組み内容や課題等を把握・整理している。子育て環境の充実を目標に、町から企業に対してどのような働きかけができるかを模索している。	実施企業数	1社
	企業/町	

【プロジェクト2】^{さと}里都まちふるさと回帰プロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○三世代家族推進事業 三世代同居等推進事業補助金制度を今年度より開始。助成実績はまだないが、事前の相談を多数受けており、4件申請見込み。	助成件数(年)
	町	
○^{さと}里都まち暮らし応援隊事業 なかい里都まちCAFEのスタッフが、地域のイベント情報や空き家情報等を伝達している。交流拠点に情報を集約するように、町からも情報提供を行う。また、なかい里都まちCAFEでの同窓会イベント開催に向けた検討も行っている。	里都まち暮らし応援隊員数	10人
	町民/町	

基本的戦略4 ^{さと}里都まち総合プロデュース戦略

国の基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

中井町は、里山などの自然環境、東名高速道路秦野中井インターチェンジ、県道71号秦野二宮線などの広域幹線道路の良さ、隣接する自治体にある医療機関や商業施設などの利便性を有している。また、住宅地としては身近に豊かな自然があり、ゆったりとした生活をする事ができる。この環境の良さを一層際立たせるとともに、鉄道駅がない弱点を克服するため、利便性と知名度を向上させる。

数値目標	目標項目	目標値(H31)	基準値
	利便性が向上したと感じている町民	80%	62%
中井町を推奨している町民	60%	41%	

【プロジェクト1】^{さと}里都まちプロモーションプロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○^{さと}里都まちプロモーション事業 PR動画や冊子、ノベルティ等を活用した町の魅力発信を行うことで、町外向けの町の認知度向上と、町民の町への愛着度向上を図る。これから戦略指針に基づいて効果的にプロモーション活動を展開する。	中井町を推奨している町民
	大学/企業/町	
○^{さと}里都まち暮らしの質向上事業 里都まち交流拠点の利用が活発になることで、町の地域資源や人の魅力を感じたり体験することができるため、交流拠点の施設利用を促進させ情報発信を行っていく。	利便性が向上したと感じる町民	80%
	町民/町	
○^{さと}里都まち好循環のまち事業 各プロジェクトを連携させて推進していくことで、相乗効果を生む。プロジェクトの活動を里都まち交流拠点を中心に展開していくことで話題性を上げ、メディアを活用した情報発信を積極的に行う。	取材件数(年)	12件
	町民/企業/大学/町	

【プロジェクト2】^{さと}里都まちコンパクトプロジェクト

取組み内容	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
	○中心拠点・小さな拠点形成事業 里都まち交流拠点を整備。空き家等を有効活用し、さらなる拠点の形成に取り組む。	小さな拠点認定数
	町民/町	
○交通ネットワーク形成事業 町内に117か所の乗降ポイントを設け、7:00~19:00で平日のみオンデマンドバスを運行している。「なかい里やま直売所」の乗降ポイント名を今年度より「なかい里都まちCAFE(なかい里やま直売所)」と変更し、交流拠点を繋ぐ足としても運行している。利用登録者数も3,000人を超えた。引き続き最適な運行形態を模索していく。	オンデマンドバス利用者数(年)	7,000人 (H29年度末)
	町民/町	